

EconomicsSeminar2

4 units 4th-year(whole year)

Kazuyuki Ishida · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) 受講生自らが課題を見つけ、分析し、結果を得ることができるようになる。そのために必要な技術を習得する。財政に関する理解を深める。学生同士の親睦を深める。

Outline) 基本書を輪読し、学生同士で議論することにより、財政学の基礎の理解を深める。また、随時、現地視察や実務家との懇話会を開催する。

Keyword) 財政学

Relational Lecture) “public finance 1”(1.0), “PublicFinance2”(1.0)

Goal)

1. 自分で文献を探し、分析し、結果を出す
2. 学生同士の親睦を深める

Schedule)

1. ガイダンス
2. 財政学とは何か
3. 日本財政の現状と課題
4. 予算制度
5. 市場メカニズムと資源配分の効率性
6. 資源配分機能 (1):公共財
7. 資源配分機能 (2):外部効果
8. 資源配分機能 (3):費用逓減産業
9. 所得再分配機能
10. 経済安定化機能 (1):自動安定化装置
11. 経済安定化機能 (2):裁量的財政政策
12. 国と地方の役割分担
13. 国と地方の税源配分
14. 政府間財政関係 (1):地方交付税
15. 政府間財政関係 (2):補助金
16. 官民の役割分担
17. 政府の捉え方 (1):慈悲深い政府
18. 政府の捉え方 (2):リバイアサン政府
19. 集団的意思決定の理論
20. 財政の持続可能性 (1):ドーマー命題
21. 財政の持続可能性 (2):プライマリーバランス
22. 日本の税制の現状と課題

23. 所得課税
24. 消費課税
25. 資産課税
26. その他の課税:目的税, 政策税制など
27. 公債 (1):国債
28. 公債 (2):地方債
29. 社会保障 (1):医療
30. 社会保障 (2):年金

Evaluation Criteria) 平常点により評価する

Re-evaluation) なし

Textbook) 未定 (受講生と相談の上, 決定)

Webpage) <http://www.geocities.jp/zaiseigakulab/index.html/>

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219426>

Contact)

⇒ Ishida (2206, +81-886567169, k-ishida@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 随時)